

布基礎用天端仕上げ材 ライオンハイフロー天端用

ハイフロー天端用とは

ハイフロー天端用は、住宅布基礎コンクリート打設天端面に流し込むだけで平滑な仕上がりが得られるセメント系セルフレベリングモルタルです。

ハイフロー天端用の特長

- 優れたセルフレベリング性
スランプロスが少なく、作業性に優れています。
- 優れた耐久性
セメント系であり、また特殊繊維で補強していますので、圧縮・曲げ耐久性に優れています。
- 工期の短縮
生コンクリートの打設から、天端の仕上げまで1日で施工できます。

道具の準備

- ・ポリタル
- ・ハンドミキサー
- ・流し込み用カップ
- ・水計量バケツ
- ・左官刷毛
- ・養生シート



混練状況



取り扱い上の注意

- 本製品は強いアルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 作業時には、保護手袋、防塵マスク、防塵眼鏡等を必ず着用して下さい。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼し、直ちに専門医の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗い流して下さい。



ライオンハイフロー天端用 25kg/袋

標準配合

	ライオンハイフロー天端用	水	練り上がり量
1袋配合	25kg(1袋)	6.5kg	15ℓ

標準施工長さ(1袋当たり)

施工厚さ (mm)	施工長さ (m)		
	基礎巾10cm	基礎巾12cm	基礎巾15cm
10	15	13	10
15	10	8.4	7

$$\frac{\text{施工面積 (m}^2\text{)} \times \text{厚み (mm)}}{15} = \text{使用量 (袋)}$$

※10mm厚みで1袋当り1.5m²施工できます。

ライオンハイフロー天端用の物性値の一例

項目	試験方法	試験結果
フロー値	JASS 15M-103	220
凝結時間 (時間-分)	始発	JASS 15M-103 12-30
	終始	JASS 15M-103 14-30
圧縮強度 (N/mm ²)	JASS 15M-103	24.5
下地接着強度 (N/mm ²)	JASS 15M-103 アクリル系樹脂塗布	1.8
長さ変化 (%)	JIS A-6916	0.12
単位容積重量 (kg/ℓ)	JIS A-1174	2.082

※上記のデータは代表値であり、品質保証値ではありません。

ハイフロー天端用の施工要領

施工前の注意

- ① コンクリートの打設はマグネット、墨出し、釘等にて表示された仕上がり天端より10mm下がりに納めて下さい。打設したコンクリート天端面は木ゴテ等で平均に均して下さい。
 - ・マグネット、釘等のレベル表示は1mピッチにて行って下さい。
 - ・ハイフロー天端用の打設厚みが10mm以下になると、レベリング性が低下し、また、ドライアウトによる表面強度低下やひび割れ、剥離の原因となります。
- ② コンクリートのブリージング水が引いた時点で左官刷毛等で表面の目荒らし清掃を行います。部分的にブリージング水が残っている場合はウエス等で除去後目荒らしを行って下さい。
- ③ 天端仕上げのレベル表示に狂いが無いか再確認して下さい。また、基礎の交差部分、直線部においても、5mピッチ位に断熱材等で堰を設けると確実な施工ができます。

材料の混練り

混練り容器に※正確に計量した水を先に入れ、ハンドミキサーで攪拌しながら、ママ粉が出来ないよう徐々にハイフロー天端用を投入して、流動性が発揮できるまで(約2分間)よく混練りして下さい。
 ※混練り水が多すぎると材料分離をおこし、表面強度不足、剥離の原因になります。

流し込み、仕上げ

カップ等を用いて、端部より仕上がり表示に従い流れを追う様に移動しながら流し込んで下さい。堰の両側を流し込んでから堰を取り除き、タッピングで打ち継ぎ箇所を均して下さい。流し込み終了後、材料の流出等がないことを確認し、レベル表示の釘、マグネット等を外して下さい。

養生

- ※打設終了後は必ずシート養生を行って下さい。
- ※夏期に急激な乾燥を受けるとクラック、剥離の原因となります。また冬期は硬化が遅れる為、保温等の処置を講じて下さい。

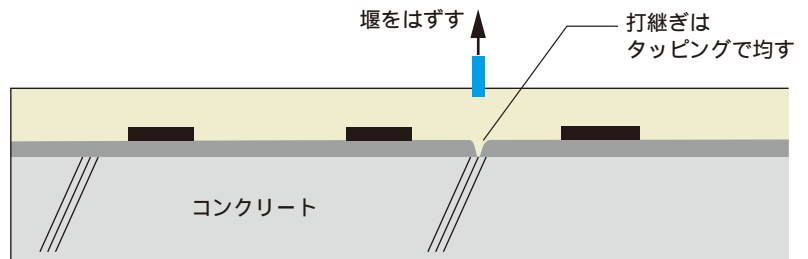
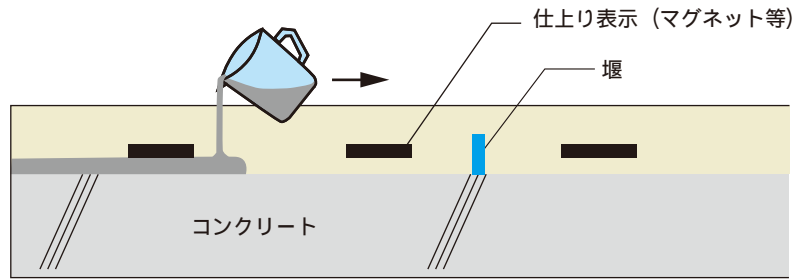
施工上の注意

- ・生コンの打設後翌日以降に天端仕上げを行う場合、事前にコンクリート表面のレイタンス層、ホコリ等接着を阻害するものを除去し、専用プライマー「ライオンボンドA」の3倍希釈液を塗布して下さい。ライオンボンドAが指触乾燥後ハイフロー天端用を施工して下さい。
- ・ハイフロー天端用は流動性が高い為、僅かな隙間からでも流れ出します。隙間部分は硬練りしたハイフロー天端用で確実にシールして下さい。
- ・材料の保管はセメントと同様に湿気をさけて保管して下さい。

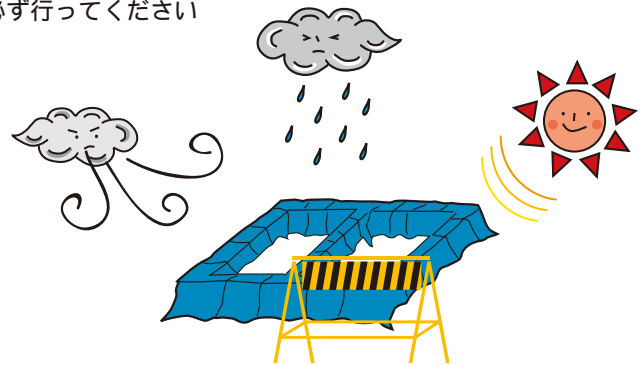


※ライオンボンドA

※端部より移動しながら流し込む



※養生は必ず行ってください



施工風景

施工完了



使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

- | | | | | |
|------|-----------|--------------------------------|-----------------|------------------|
| 東京 | 〒105-8641 | 東京都港区東新橋1-9-2(汐留住友ビル20F) | 電話 03(6370)2721 | Fax 03(6370)2759 |
| 大阪 | 〒530-0004 | 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F) | 電話 06(6342)7704 | Fax 06(6342)7708 |
| 名古屋 | 〒450-0003 | 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F) | 電話 052(566)3202 | Fax 052(566)3273 |
| 札幌支店 | 〒060-0003 | 札幌市中央区北三条西2-10-2(札幌HSビル10F) | 電話 011(241)3901 | Fax 011(221)1017 |
| 東北支店 | 〒980-6003 | 仙台市青葉区中央4-6-1(SS30ビル3F) | 電話 022(225)5251 | Fax 022(266)2516 |
| 北陸支店 | 〒920-0849 | 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F) | 電話 076(223)1505 | Fax 076(223)0193 |
| 四国支店 | 〒760-0033 | 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F) | 電話 087(851)6330 | Fax 087(822)6870 |
| 広島支店 | 〒732-0827 | 広島市南区稻荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F) | 電話 082(577)7645 | Fax 082(577)7646 |
| 福岡支店 | 〒812-0011 | 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F) | 電話 092(481)0186 | Fax 092(471)0530 |

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は